

<学力向上のために>

日々の授業を大切にすることや、自分にあった学習方法を身につけ、日々の努力を継続することが大切です。また、多様な体験活動を通し、自ら学ぶ意欲や他とかわかる力を高めています。

定期テスト前には家庭学習週間をもうけ、計画的に学習ができるよう支援しています。

<全国学力学習状況調査の結果から>

平成26年度、本校生徒の正答率は、国語AB・数学ABともに、全国平均より高く、全体に無回答が少なく諦めずに考える傾向が見られます。

誤答となった問題を再確認し指導に生かしております。

<本校の取組>

(1) 授業の改善充実

- ・小規模特性を生かした、より個に応ずる指導
- ・「言語活動の充実」「個々の学びの特性を生かす」ことを柱とする校内研修
- ・ICTの活用（コンピュータ、WEB問題データベース等）

(2) 「地域の力を学びの力に」する多様な体験活動

- ・農業を基盤とする校区地域に関わる各種体験（食品加工、そば打ち、農園活動、地域農業人に聞く等）
- ・職場体験学習、保育所・小学校・高齢者等との交流

(3) より個に応ずる学びの場づくり

- ・3年放課後学習（部活動バスまでの時間の活用）
- ・長期休業中のポロシリ寺子屋

(4) 家庭との連携

- ・家庭学習の習慣化を図る取組（家庭学習週間、学習ノート等）

左：Web問題データベース

中：ポロシリ寺子屋 右：そば打ち体験学習

